

スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



美の国あきた
鹿角国体2022
優勝者

女子 クロスカントリー リレー

- 左から
- 畔上 凜花 (秋田北鷹高)
 - 畠山 香恋 (花輪高)
 - 山田 智子 (秋田北鷹高)
 - 石垣 寿美子 (富士フィルムBI秋田株式会社)



成年男子A コンバインド
木村 幸大 (中央大学)



成年男子A クロスカントリー
田中 聖土 (自衛隊体育学校)



少年女子 クロスカントリー
山田 智子 (秋田北鷹高)

[写真提供：秋田魁新報社]

contents

- ◎BEIJING 2022 北京オリンピック～秋田県出身選手の活躍～
美の国あきた鹿角国体2022～秋田県選手団の活躍～… 2
- ◎巻頭言・令和4年度主要行事予定… 3
- ◎第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会
美の国あきた鹿角国体2022「鹿角スキー国体を振り返って」… 4
- ◎第77回国民体育大会冬季大会 競技結果… 6
- ◎令和3年度全国高等学校総合体育大会第71回全国高等学校スキー大会 秋田県選手入賞者一覧
令和3年度全国中学校体育大会第59回全国中学校スキー大会 秋田県選手入賞者一覧
令和3年度全国中学校体育大会第42回全国中学校スケート大会 秋田県選手入賞者一覧… 7
- ◎躍進 雄物川高等学校バレーボール部
全日本バレーボール高等学校選手権大会ベスト4進出… 8
- ◎期待のジュニアアスリート vol.11 … 9
- ◎女性アスリートコンディショニングプログラム～指導者編～
令和3年度秋田県中学生強化選手育成事業 競技力向上研修Ⅱ… 10

- ◎BEIJING 2022 冬季オリンピック勇気と感動をありがとう… 11
- ◎One Heart! 秋田ノーザンブレッツRFC トップイーストリーグGroup-A昇格決定!! … 12
- ◎令和3年度秋田県スポーツ賞等受賞者… 13
- ◎令和3年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者/ジュニア育成対策・競技力向上事業・オリンピック候補選手等への支援ご協力ありがとうございます。… 17
- ◎第1回秋田県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会… 18
- ◎令和3年度スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会
日本スポーツ少年団顕彰・秋田県スポーツ少年団表彰… 19
- ◎県内スポーツの主なできごと
秋田県スポーツ協会へのご寄付のお願い… 20
- ◎会議録(抄)/お問い合わせ/編集後記… 21
- ◎オフィシャルパートナー/オフィシャルサポーター… 22

オフィシャルパートナー



厚生ビル管理株式会社

ISUZU 秋田いすゞ自動車株式会社

DOWA

YOKOUN ヨココン株式会社

富士フィルム BI 秋田

秋田魁新報

BEIJING 2022

北京オリンピック ～秋田県出身選手の活躍～

アルペン女子

日本代表

初出場

向川 桜子 選手

(富士フィルムBI秋田)



レース後の笑顔
提供：秋田魁新報社

バイアスロン女子

日本代表

4大会連続出場

立崎 芙由子 選手

(自衛隊体育学校)



オフシーズントレーニング
提供：秋田魁新報社



女子大回転
提供：向川選手ご本人



女子7.5kmスプリント
提供：自衛隊体育学校

美の国あきた鹿角国体2022

～秋田県選手団の活躍～



天皇杯・皇后杯
第4位



クロスカントリー少年女子
表彰台独占



クロスカントリー少年女子
準優勝 島山 香恋
(花輪高)



クロスカントリー少年女子
第3位 畔上 凜花
(秋田北鷹高)



コンバインド少年男子
第3位 成田 健太
(花輪高)



スペシャルジャンプ成年男子
準優勝 馬淵 点
(イトイ産業)



巻頭言



公益財団法人秋田県スポーツ協会 会長 鶴田 有司

県スポーツ協会はここ2年にわたり新型コロナウイルスに翻弄され、今後どのように推移していくのかが心配の種となっております。新型コロナの先行きは依然不透明ではありますが、その中で競技力の向上、スポーツの振興・発展に向けて私たち一人一人が、何ができるのかを問われる一年となります。

昨年度は残念なことに、新型コロナの影響でスポーツ少年団の大会をはじめ多くの大会が中止を余儀なくされました。一方でいろいろな制約を受けながらも、関係者の努力により開催にこぎつけることができたウインタースポーツの大会もありました。

特筆すべきは、鹿角市でこの2月に開催されたスキー国体が成功裏に終えることができたことです。開催の可否をめぐるいろいろなご意見もありましたが、

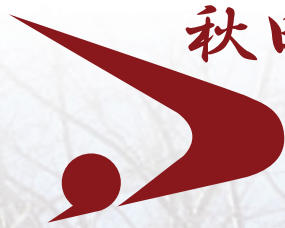
無観客、徹底した感染対策の下での大会は、今後の開催に向けた新たな道筋を示したと思います。鹿角市の皆様をはじめ、関係者の方々のご労苦に心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

大会では、少年女子5キロクラシカルで県勢が表彰台を独占、複合成年男子Aでは前半4位の木村幸大選手が後半の距離で逆転し初優勝、最終日の女子リレーでは圧倒的な強さで5年ぶりの優勝を飾るなど、県選手団はまさに獅子奮迅の活躍をしてくれました。一部有力選手が出場できない中、天皇杯、皇后杯ともに4位という成績を収めることができました。

北京オリンピックでの県勢の奮闘も忘れてはなりません。立崎芙由子選手（北秋田市出身）と向川桜子選手（横手市出身）の二人が参加しました。4回目のオリンピックとなった立崎選手は、バイアスロンで何と5種目に出場しました。ただでさえ過酷な競技にあって、体力の限界に挑む姿はまさに想像を超える世界を見せてくれたといっても過言ではありません。アルペンで秋田県初の女子選手となった向川選手は、大回転、回転ともに途中棄権が相次ぐ難コースに果敢に挑み、予選、決勝とも見事に滑りきってくれました。県人の粘り強さ、決してあきらめないという魂を示してくれました。本当にお疲れさまでした。両選手のこれからのご活躍をご祈念申し上げます。県スポーツ協会としても、2人に続くトップアスリートが育つように一層の力を尽くしたいと思います。

令和4年度主要行事予定

年 月 日	行 事	会 場
R4.4中旬	加盟団体事務局長会議	秋田県スポーツ科学センター
R4.6.1 (水)	第1回定例理事会	秋田県スポーツ科学センター
R4.6.23 (木)	定時評議員会、受賞者祝賀会	秋田キャッスルホテル
R4.8.19 (金) ~21 (日)	第77回国民体育大会東北ブロック大会兼 第49回東北総合体育大会	青森県
R4.9.1 (木)	第2回定例理事会	秋田県スポーツ科学センター
	第77回国民体育大会秋田県選手団結団式	秋田市文化会館
R4.10.1 (土) ~11 (火)	第77回国民体育大会本大会	栃木県
R5.1.28 (土) ~2.5 (日)	特別国民体育大会冬季大会 (スケート・アイスホッケー競技会)	青森県八戸市
R5.2.17 (金) ~20 (月)	特別国民体育大会冬季大会 (スキー競技会)	岩手県八幡平市
R5.3上旬	第3回定例理事会	—
R5.3下旬	臨時評議員会	—



秋田 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会 美の国あきた鹿角国体2022

『鹿角スキー国体を振り返って』

平成25年以來の14年ぶりとなるスキー国体の本県開催は、コロナ禍の真ただ中。当初は令和3・4年の2年連続で鹿角開催を予定し、その盛り上がりにより多くの人たちが期待を寄せ、そこに向けてみんなが汗を流すはずでした。しかし、昨年は多くのイベントが中止を余儀なくされ、国体も中止を判断せざるを得ませんでした。

ようやく開催にこぎつけた今大会では、開催に反対する声も聞かれる中、多くの方々のご苦勞とご尽力によって、出来得る限りの対策が講じられ、本県選手団は、地元開催で大いに躍動し、期間中にはたくさんの笑顔を見せ、スキー王国秋田を感じさせてくれました。

今回は、県選手団の総括とともに、社会情勢も追い風でない中で本県開催を実現してくださった運営サイド、今大会の選手たちの活躍を下支えした現場のコーチ・スタッフ、そうした表には出ない方々の声に触れてみたいと思います。

畠山 芳彦：県スキー連盟競技本部長 秋田県選手団総監督



コロナの変異株、オミクロンが全国に蔓延している中、秋田県・秋田県教育委員会・鹿角市・秋田県スポーツ協会・秋田県医師会・大会関係者の英断により、第77回美の国あきた鹿角国体2022『伝えよう感動繋げよう絆』のスローガンのもと開催される運びとなり、秋田県選手団を代表して心より感謝申し上げます。第76回国体も地元での開催でしたが、コロナ感染症の影響で中止となり、大会関係者に大きなショックを与え、また、現役最後の選手（特に予選会を勝ち取り、国体選考で出場決定）の心情を思うと、慰めの言葉もありませんでした。今後の活躍を期待しました。大会は鹿角市花輪スキー場で2月17日～20日までの4日間無観客で行われ、参加条件として、14日前からの体温・体調報告、また、来会前72時間以内のPCR検査、現地入りしてからは毎日の抗原検査と、徹底した感染症の防止対策で厳しく体調管理を実施しました。

我々、秋田県選手団の目指す所、やるべき事はただひとつであり、天皇杯・皇后杯を北海道、長野県、新潟県を抑えて勝ち取る事を目標に国体に望みました。各セクションの監督・総務を集めたミーティングの中で、総監督としての目標獲得点数150点、最後まで諦めない、勝ちにこだわる選手団を作り上げる決意を示し、各監督から獲得予想得点の報告を受けました。2月17日は、開始式はなく、ジャンプの公式トレーニングのみで、各選手の仕上がり状態を松浦監督に確認すると、各人調子がいいとの報告を受けホッとしたところでした。

競技初日となる2月18日には、クロカン成年男子Aの田中聖土が優勝、ジャンプ成年男子Aの馬淵点が準優勝と大活躍で、45点を獲得し勢いをつけ明日への弾みとしました。

2月19日は、クロカンの少年女子で山田智子が優勝、畠山香恋が準優勝、畔上凜花が3位と上位を独占。圧勝に歓喜とともに盛り上がりました。コンパインドの成年男子Aで木村幸大が優勝しその実力を会場に示しました。この日は41点を獲得し、トータル86点としました。

最終日の2月20日は、クロスカントリーの女子リレーが優勝。1走畔上凜花、2走畠山香恋、3走山田智子、アンカー石垣寿美子のオーダーで、高校生トリオが好走し、アンカーで石垣寿美子が貫禄を示しました。優勝の瞬間、私も含め本部役員は感動の余り目頭が潤みました。続く少年男子リレーが4位。1走古田柊斗、2走遠藤佳人、3走石井茂太、アンカー藤本孝輔。ゴールまで接戦、最後は長野県に屈するも、素晴らしい勝負でした。成年男子リレーは6位。1走土濃塚悠成、2走田中聖土、3走佐藤太一、アンカー湊祐介。成年男子Aのレベルが高く、田中聖土を軸に奮闘するも思い通りの展開が出来ず6位でした。ジャイアントスラロームの成年女子Bで6位に入った岡本乃絵選手は、他県で活躍していた選手でしたが、県スポーツ協会のアスリート就職支援事業を活用し、平成30年から活動の拠点を秋田に移して、今回秋田県での初代表として頑張ってくれました。

結果、天皇杯（116点）4位、皇后杯（40点）4位。

本県の国体に向ける目標に変わりありませんが、第78回岩手国体に向かって進むだけです。言い訳になるかも知れませんが、国体前に有望選手4人の怪我等による離脱、北京五輪含む4人の国際大会派遣での欠場は、北海道、長野県に比べ選手層の薄い本県に取って非常に大きな痛手でした。クロスカントリー（優勝3つ）の輝かしい大活躍、ジャンプ・コンパインド（優勝1）の各カテゴリーでの複数入賞の反面、アルペン競技へのさらなる強化の必要性を改めて思い知らされました。昨年度からジュニア強化の見直し、一貫指導体制、指導者の方針の共有化と、まだまだ不足な面ばかり感じられ、更なる高みを目指す上で、今一度強化方針と計画の見直しを検討しなければと感じた『第77回美の国あきた鹿角国体2022』でした。

しかしながら、各県の監督からは国体を開催してくれて有り難うの言葉を頂き感謝されました。改めまして、大会関係者の方々のご尽力に感謝申し上げます。

赤川 桃子：秋田県庁 県スキー連盟競技本部総務（兼クロスカントリー スタッフ）



クロスカントリー競技においては、少年男子の複数入賞を皮切りに個人種目では計8名の選手が優勝・入賞を果たし、少年女子5キロクラシカルでは表彰台を独占するなど、秋田県選手団を大いに盛り上げてくれたものと感じています。鹿角のコースを知り尽くした成年選手の粘り強い走り、最後まで力強く走り抜いた少年選手、経験豊富なコーチ陣のワックスサポート、すべてがチームの力として結びついた結果であると思います。

無観客での開催であったものの、地元秋田での開催を心待ちにしていたであろう選手たちの連日の活躍、毎日選手よりも早く会場入りをして繰り返しワックステストを行い、活躍を後押しした多くのコーチ・スタッフの姿を目にして、県として挑む国体の良さであることも実感しました。

この困難な状況が早く収束に向かい、大きな声援の中で選手の力強い走りが見られることを楽しみにしています。



月居 克夫：小坂高校教 ジャンプ・コンバインド コーチ



国体スペシャルジャンプにおいて秋田県チームの大黒柱である成年B湊祐介を中心に、それに続けと少年組海沼史人が4位・湯瀬一磨が5位入賞と勢いをつけてくれました。激戦である成年Aでは、今シーズンを最後にスキーを退く馬淵点が2位となり輝きを放ちました。そして、宮崎敬太も6位入賞と堅実にポイントを重ねました。各組で優勝こそ逃したものの、スペシャルジャンプにおいて北海道や長野、新潟に割って入る活躍ができたことは、全体的なジャンプ力の向上を感じる意味のある結果でした。特に、高校生の活躍からジャンプ勢の全体的な底上げを大きく感じることができました。

その背景には、チームAKITA強化事業による充実した強化合宿と、テクニカルアドバイザーの小山内鴻佑の存在がスペシャルジャンプにおいてのレベルアップに繋がったと思われます。コロナ禍による制約がある中においても、限られた条件を生かし個々の成長に繋がったのは非常に大きな意味をこの二つの事業に感じることができました。

最後に、コロナ禍の中で2年越しの開催となった鹿角スキー国体。舞台を整えスタートラインに立たせていただいたこと。そして無事に終わることができたこと。関係各位、役員スタッフの皆さん、ボランティアでサポートしてくれた高校生スタッフ、自衛隊支援隊の皆さん、この場を借りて心より感謝申し上げます。

佐々木 慎二：湯沢翔北高校教 アルペン 総務兼コーチ



怪我による選手交代や欠場など、レース前に入れ替えなどが忙しくなった今回の得点は、9点と久々の一桁台に終わってしまいました。今大会に向け、1月27日から10日間ほどのトレーニング機会を確保し、少年から社会人までの選手とともに花輪スキー場で本番を想定したコースレイアウトであったり、ポールセットでのトレーニングを行いました。また、成年選手にはジュネス栗駒スキー場の事前合宿にも参加してもらい大会に臨みました。様々な対策をしてきただけに、今回の得点の伸び悩みを反省しています。

大会期間中は、監督・コーチ・選手・大会役員との連絡を密にし、大会コースの仕上がりの確認や選手が試合に集中できる環境を用意してきました。会場への移動計画や弁当の準備、スキーのメンテナンスなど、出来る限りのことをやってきました。しかし、地元でもっとやれることがあったのではと、悔やまれることもいくつかあります。今後も国体で選手が活躍できるようにできる限りのサポートをしていきたいと思えます。

佐藤 太一：県スポーツ協会（テクニカルアドバイザー） クロスカントリー 選手（成年B・成年リレー）兼コーチ



昨年度、新型コロナ流行のため中止となった国体が2年ぶりに開催され、県選手団のクロカン部門として多数の入賞者を出すことができ、嬉しく思っています。

選手個人の頑張りも勿論ですが、コーチ陣のサポートが今回の好成績の要因となったと思っています。選手が出発する何時間も前からコースへ赴き、刻々と変化する天気や雪の状況を見極め、ワックスやストラクチャーの選択をしてくれました。何台ものスキーをテストし、最も滑るものを導き出す作業はかなり大変です。個人種目で行われるクラシカルでは、滑り止め作用のあるワックスの選択も加わります。地元の利を生かした多くの人員とコースを知り尽くすコーチの知恵が融合し、どこよりも滑るスキーで気持ちよく背中を押してくれました。

表からは見えにくい部分ではありますが、この取り組みがあったからこそ選手達の活躍が生まれました。コーチ陣への感謝を改めて申し上げます。

小山内 鴻佑：県スポーツ協会（テクニカルアドバイザー） ジャンプ・コンバインド コーチ兼スタッフ



今大会へ向け出場権をかけた予選会では、選考基準をクリアしたものの、後にワールドカップに出場していた選手の起用が決まり、私の出場権が無くなりました。一つの節目と考えて日々を過ごしてきた私にとっては、これはとても耐えがたいもので、後に選手団のスタッフを依頼された時には、内心は言い表せないものであったのが本音です。

テクニカルアドバイザーとしてのこの2年間、支えてくれる人のため、そして自身のため、後輩の手本となるために日々練習に練習を重ねて準備してようやく掴み取ったチャンスを失ったその気持ちは、抑え込むのは容易なものではありませんでした。地元開催の国体で結果がとても良かった喜びも、やはり悔しさで半減でした。

来年からは新しい環境に身を置くことになります。今度は会社のため、そして自身の目標のために、気持ちを新たにまた前へ進んでいきます。地元国体での出場は叶えられませんでした。悔しさばかりではなく、チャンスは掴むなら確実なものにして、そう教訓を得た今大会でもありました。

成田 匡：鹿角市教育委員会 国体・インカレ事務局 事務局次長（鹿角市教育委員会 スポーツ振興課 課長）



スキー競技会史上初となる2年連続での開催でありましたが、昨年の大会は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。そのため、今年は「どうすれば大会を開催できるのか」ということを直前まで試行錯誤しながら大会に臨み、無事競技会を成立させることが出来ました。共にご尽力いただいた秋田県をはじめ主催団体や競技役員の皆さんに改めて感謝申し上げます。また参加された都道府県選手団の皆さんにも長期にわたる体調チェックシートへの記入、鹿角入り直前のPCR検査、そして期間中毎日の抗原検査などさまざまな協力もいただきました。大会を実施する側と参加する側が、成功に向け心を一つにした場面が数多く実感できた大会であったと思います。

また毎年のように全国規模の大会を開催している鹿角市では、競技運営もさることながら選手団や会場に訪れる皆さんへの「おもてなし」にも力を入れています。今大会では直接会場でその力を発揮する場面はありませんでしたが、昨年の大会用に作られたのぼり旗をリユースして高校生や市民の有志がクッションを製作しました。約300個のクッションは副賞として贈呈され、選手たちからとても喜ばれたことは、鹿角らしさを発揮できた一面であると思っています。

終わりに、各地のスポーツイベントや大会等の中止には心が痛みますが、1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、鹿角スキー国体の開催が、他の大会等の再開に向けた後押しになることを期待しています。





第77回国民体育大会冬季大会 競技結果

【スケート競技】 栃木県日光市 令和4年1月24日(月)～28日(金)

【アイスホッケー競技】 栃木県日光市 令和4年1月26日(水)～30日(日)

【スキー競技】 秋田県鹿角市 令和4年2月17日(木)～20日(日)

【入賞一覧】

順位	得点	種別	種目	氏名	所属
1位	8.0	成年男子A	クロスカントリー	田中 聖土	自衛隊体育学校冬季特別体育教育室
	8.0	少年女子	クロスカントリー	山田 智子	秋田北鷹高校
	8.0	成年男子A	コンバインド	木村 幸大	中央大学
	8.0	女子	クロスカントリー・リレー	畔上 凜花	秋田北鷹高校
				畠山 香恋	花輪高校
山田 智子				秋田北鷹高校	
				石垣 寿美子	富士フィルムB 秋田(株)
2位	7.0	少年女子	クロスカントリー	畠山 香恋	花輪高校
	7.0	成年男子A	スペシャルジャンプ	馬淵 点	(株)イトイ産業
3位	6.0	少年男子	クロスカントリー	藤本 孝輔	秋田北鷹高校
	※	少年女子	クロスカントリー	畔上 凜花	秋田北鷹高校
	6.0	少年男子	コンバインド	成田 健太	花輪高校
4位	5.0	少年男子	スペシャルジャンプ	海沼 史人	花輪高校
	5.0	少年男子	クロスカントリー・リレー	古田 柊斗	花輪高校
				遠藤 佳人	秋田北鷹高校
				石井 茂太	花輪高校
				藤本 孝輔	秋田北鷹高校
5位	4.0	成年男子B	ジャイアントスラローム	中村 和司	富士フィルムB 秋田(株)
	4.0	成年女子B	クロスカントリー	石垣 寿美子	富士フィルムB 秋田(株)
	4.0	少年男子	クロスカントリー	古田 柊斗	花輪高校
	4.0	成年男子B	スペシャルジャンプ	湊 祐介	阿仁スキークラブ
	4.0	少年男子	スペシャルジャンプ	湯瀬 一磨	小坂高校
	4.0	少年男子	コンバインド	海沼 史人	花輪高校
6位	3.0	成年女子B	ジャイアントスラローム	岡本 乃絵	(有)鶴の湯温泉
	3.0	成年男子A	スペシャルジャンプ	宮崎 敬太	東海大学
	3.0	成年男子B	コンバインド	湊 祐介	阿仁スキークラブ
	3.0	成年男子	クロスカントリー・リレー	土濃塚 悠成	日本大学
				田中 聖土	自衛隊体育学校冬季特別体育教育室
				佐藤 太一	秋田県スポーツ協会
				湊 祐介	阿仁スキークラブ
7位	2.0	成年男子C	ジャイアントスラローム	生田 康宏	東京美装興業(株)鹿角事業所
8位	※	少年男子	クロスカントリー	遠藤 佳人	秋田北鷹高校

入賞数：23 (昨年20)

※入賞者が同県3名以上の場合に同県上位2名のみ配点として次位の選手を繰り上げ配点するため得点なし

○第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 30位 10.0点 [うち参加得点10.0点]

女子総合成績(皇后杯)・得点 26位 10.0点 [うち参加得点10.0点]

○第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 11位 10.0点 [うち参加得点10.0点]

○第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 4位 116.0点 [うち参加得点10.0点]

女子総合成績(皇后杯)・得点 4位 40.0点 [うち参加得点10.0点]

○第77回国民体育大会冬季大会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 9位 136.0点 [うち参加得点30.0点]

女子総合成績(皇后杯)・得点 14位 50.0点 [うち参加得点20.0点]



令和3年度全国高等学校総合体育大会 第71回全国高等学校スキー大会 秋田県選手入賞者一覧

開催地：岩手県八幡平 会期：令和4年2月6日(日)～10日(木)

※○数字は学年

※スキーは10位以内が入賞

- アルペン(スラローム・ジャイアントスラローム)：安比高原スキー場 カッコウコース
- クロスカントリー・コンパインドクロスカントリー：田山クロスカントリーコース
- スペシャルジャンプ・コンパインドジャンプ：矢神飛躍台、田山クロスカントリーコース

No.	順位	種 目	種別	学 校 名 ・ 氏 名 ・ 学 年		
1	1位	クロスカントリー5kmフリー	女	秋田北鷹 山田 智子③		
2		クロスカントリー5kmクラシカル	女	花 輪 島山 香恋②		
3		クロスカントリー5kmフリー	女	花 輪 島山 香恋②		
4	2位	クロスカントリー5kmクラシカル	女	秋田北鷹 山田 智子③		
5		クロスカントリーリレー5km×3	女	秋田北鷹 畔上 凜花③ 近藤さくら③	大野 まこ③ 木村 慶②	山田 智子③
6	3位	クロスカントリー10kmフリー	男	秋田北鷹 遠藤 佳人①		
7		ノルディックコンパインド	男	花 輪 成田 絆①		
8		クロスカントリーリレー10km×4	男	花 輪 高畑 歩① 成田 絆①	古田 柊斗② 花岡 翔太③	石井 茂太② 黒澤 唯斗①
9	4位	クロスカントリーリレー10km×4	男	秋田北鷹 大坂 陽斗② 松浦 鷹祐①	藤本 孝輔① 布谷 航斗②	遠藤 佳人① 奈良虎太郎①
10		クロスカントリーリレー5km×3	女	花 輪 小附 玲愛② 小鮎徳乃美①	島山 香恋② 木村 翠①	吉田 凜①
11		クロスカントリー5kmフリー	女	秋田北鷹 大野 まこ③		
12	5位	ノルディックコンパインド	男	花 輪 成田 健太③		
13		クロスカントリー10kmクラシカル	男	花 輪 古田 柊斗②		
14	6位	クロスカントリー10kmフリー	男	秋田北鷹 藤本 孝輔①		
15		スペシャルジャンプ	男	花 輪 成田 絆①		
16	7位	クロスカントリー5kmクラシカル	女	秋田北鷹 畔上 凜花③		
17		スラローム	男	角 館 永澤 壮馬②		
18	9位	クロスカントリー5kmフリー	女	秋田北鷹 畔上 凜花③		
19		スペシャルジャンプ	男	小 坂 湯瀬 一磨①		
20		クロスカントリー10kmフリー	男	花 輪 石井 茂太②		
21	10位	クロスカントリー5kmクラシカル	女	秋田北鷹 近藤さくら③		
22		ノルディックコンパインド	男	花 輪 海沼 史人③		
23		スラローム	男	角 館 鎌田 宇朗①		
24	学校対抗		女	秋田北鷹高等学校		
25			男	花輪高等学校		
26			女	花輪高等学校		
27			男	秋田北鷹高等学校		

入賞数：27(昨年10)

令和3年度全国中学校体育大会 第59回全国中学校スキー大会 秋田県選手入賞者一覧

開催地：長野県 会期：令和4年2月1日(火)～4日(金)

※○数字は学年

※スキーは10位以内が入賞

- アルペン(スラローム・ジャイアントスラローム)：野沢温泉スキー場カンダハーコース
- クロスカントリー・コンパインドクロスカントリー：野沢温泉南原クロスカントリーコース
- スペシャルジャンプ・コンパインドジャンプ：野沢温泉シャンツェ

No.	順位	種 目	種別	学 校 名 ・ 氏 名 ・ 学 年		
1	5位	スラローム	男	東 成 瀬 石綿 響②		
2		リレー 5km×4 (秋田選抜)	男	小 坂 金丸 拓寛① 鷹 巢 藤本 伊吹② 二ツ井 菊池泉士郎②	花 輪 吉田 陸翔① 鷹 巢 清水 悠成②	花 輪 小館 由和③ 十 和田 高瀬 輝暉③
3	6位	クロスカントリー3kmクラシカル	女	小 坂 安保 胡春①		
4		リレー 3km×4 (秋田選抜)	女	八幡平 島山 絢香② 花 輪 黒澤 璃恋②	小 坂 澤田 大芽② 小 坂 安保 胡春①	比 内 石田 葵②
5	8位	ノルディックコンパインド	男	湯 沢 北 遠田 廣斗②		
6		クロスカントリー3kmクラシカル	女	小 坂 澤田 大芽②		
7		ノルディックコンパインド	女	花 輪 海沼 優月②		

入賞数：7(一昨年8)

令和3年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校スケート大会 秋田県選手入賞者一覧

開催地：長野県長野市 会期：令和4年1月29日(土)～2月1日(火) ○スピードスケート競技：エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)

※○数字は学年

No.	順位	種 目	種別	学 校 名 ・ 氏 名 ・ 学 年		
1	6位	1500m	男	桜 齊藤 匡哉③		
2	8位	1000m	男	桜 齊藤 匡哉③		



躍進 雄物川高等学校バレーボール部 全日本バレーボール高等学校選手権大会ベスト4進出

スポーツ秋田第200号「冬の陣」にて紹介しておりました全日本バレーボール高等学校選手権大会『春高バレー』に出場した雄物川高校がベスト4（8年ぶり4度目）に進出し、3位入賞という快進撃を見せてくれました。その大会を監督と新チームの主将に振り返っていただきます。



「第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会を振り返って」 監督 宇佐美 大輔

令和4年1月5日から東京体育館で無観客の状態でしたが開催されました。昨年度よりも感染症対策は厳重に行われ、大会前日の抗原検査や入場前の体温測定など試合をする前から緊張感がありました。

今年のチームは石塚・角田の両エースが軸になり、下級生が周りを固める形でした。

インターハイでは角田が機能できず、予選リーグで敗退してしまいました。そこから3年生が自覚を持ち、反省を生かし、下馬評が低かった国体予選を勝ち抜き、出場権を勝ち取りました。これが大きな自信となり春高を迎えることができたと思っています。

初戦の松江工業戦では、苦戦するのは想定できていたので、その準備を生徒たちと一緒にできていたことが逆転勝利に繋がったと思います。初戦でさらに自信をつけた生徒たちは、試合をするごとに目に見えて上達していきました。特に指示遂行能力は高いものがありました。それができたのは、試合に出られない生徒たちが相手チームをデータ化し、対策を立てやすくしてくれたお陰だと思えます。本当に生徒一人一人が自分の役割を全うし、団体スポーツでしか体験できない「人のために動ける人になる」ことができたと思えます。そして、それは社会に出たときにも生きてくると思えます。そんな生徒達を誇りに思い、また、来年度に向けて強化に励みたいと思えます。

最後に、各関係者からの様々なご支援を頂き、また、たくさんの応援ありがとうございました。心より感謝いたします。



コートで躍動する両エース
石塚選手(上)と角田選手(下)



新主将 滝澤 大希

私たち雄物川高等学校男子バレーボール部は、1月5日から東京体育館で行われた全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場してきました。

今年度は、国体が中止になってしまったり他県のチームとの練習試合ができなかったりととても不安でした。それでも「全国ベスト4」という私たちの目標を実現するために、より一層練習に力を入れて取り組みました。粘り強いレシーブからエースまでボールを繋ぐ「執念」のバレーをし、春高バレーで本校歴代最高記録と並び、私たちの目標であるベスト4に入ることができました。

そして、私たち一・二年生は全国大会で勝つ事の難しさ、センターコートでプレーできたことなど貴重な経験をたくさんすることができました。三年生が卒業した後でも、この経験を活かしてまたセンターコートまで勝ち上がって、次はあのコートで勝つことを目標にして、毎日の練習に打ち込んでいます。春高でベスト4に残ったことの嬉しさや自分が試合中に何もすることができなかった悔しさをバネにし、来年度は私がキャプテンとしてチームを引っ張っていきます。また、いつも支えてくださる地域の方々や家族、先生方に感謝の気持ちを忘れずに日々精進していくので、今後とも雄物川高等学校男子バレーボール部の応援をよろしくお願いします。



大会写真提供：秋田魁新報社



期待のジュニアアスリート vol.11



秋田県中学生強化選手の中から、ウィンタースポーツに取り組んでいる3名の選手に競技の魅力や将来について聞きました。



いしわた ひびき
石綿 響

(東成瀬中学校 2年)
スキー・アルペン競技



おの ゆりあ
小野友里愛

(外旭川中学校 3年)
フィギュアスケート競技



もりかわ かな
森川 葉奈

(鷹巣中学校 2年)
スキー・アルペン競技

Q1.競技との出会い・きっかけは？

石綿：兄がアルペンスキーを始めたときに、一緒にスキーを始めたことがきっかけです。
小野：スケート場遊びに行ったとき、上手に滑っているお姉さんを見て、私も同じようになりたいと思ったからです。
森川：姉が鷹巣スポーツ少年団に入っていたので、一緒に練習に交ざって始めたのがきっかけです。

Q2.競技の魅力・醍醐味は？

石綿：大回転、回転の2種目の競技があり、1/100秒差までの接戦になるなど、最後まで目が離せないことが魅力です。
小野：大会や発表会の際に、見に来てくれた沢山の人の笑顔にできることが、この競技の大きな魅力だと思います。
森川：競技の魅力は滑りきった時の達成感です。また、醍醐味は色々な斜面を滑れることです。

Q3.日々の練習で意識していることや大切にしていることは？

石綿：ベーシックトレーニングを大切にしています。タイムを競う競技でスピードが出るので、恐怖心との戦いもありますが、基本動作を確実にすることで、雪面をしっかり捉えてスピードコントロールできるようになるからです。
小野：チャレンジ精神です。ジャンプ等の技を練習するときに何度も転倒してしまったり、上手に出来なかったりしますが、諦めずに出来るまで何度も挑戦するようにしています。
森川：日々の練習の中で意識していることは、課題を克服するために1本1本の動きを変えることや、スタートする前の気持ちを大切にしています。

Q4.パフォーマンステスト(令和3年11月3日)の結果から競技に生かされたことは？

石綿：柔軟性が平均よりも低かった為、怪我のリスクが考えられました。そのため、本格的にシーズンインする前に、ストレッチを重点的に取り組み、怪我のリスクはもちろん股関節周りの使い方の幅が広がりました。
小野：様々な測定を行うことで、自分に足りないところが明確になり、弱点を重点的に練習する事が出来ました。
森川：パフォーマンステストの結果から、瞬発的に動いて、状況を素早く判断する事が競技に生かされました。

Q5.自身のストロングポイントは？

石綿：練習の1本1本の振り返りをコーチと話し合うことで、反省点を踏まえ、技術面の向上につなげられることです。
小野：私の強みは表現力です。曲のイメージに合わせて指先の細かいところまで意識して演技するように心がけています。
森川：様々なコースの斜面に合わせて、工夫しながら滑ることが出来るのが私の強みです。

Q6.印象に残っている大会名は？

石綿：第65回秋田県中学校スキー大会です。優勝候補と呼ばれていて、プレッシャーを感じていましたが、それをはね除けて2冠を達成することが出来たからです。
小野：北日本フィギュアスケート競技大会です。小学5年生のときに出場して、初めての大会で入賞できたことが嬉しくて心に残っています。
森川：秋田県中学校総合体育大会です。滑るのが難しい花輪スキー場で、2冠をとることが出来たからです。

Q7.将来の夢や、憧れの選手は？

石綿：憧れの選手はまだいませんが、今は、新しいものにどんどん挑戦していき、悔いのない人生を送ることが目標です。
小野：スピードがあり、とても楽しそうにスケートをしている坂本花織選手がかっこいいと思っています。楽しくスケート競技に取り組んで、見ている人も楽しい気持ちに出来るような選手になりたいです。
森川：憧れの選手は向川桜子選手です。チームのOGでもあるので、滑りを参考にしています。自分もオリンピック、ワールドカップに出場し、納得のいく成績を残すことが将来の夢です。

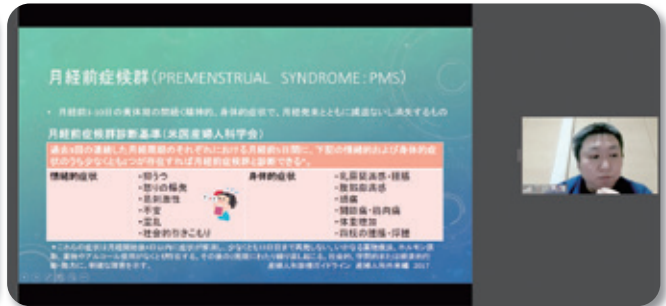


女性アスリートコンディショニングプログラム～指導者編～

令和4年1月16日に県内の女子選手が在籍する競技団体指導者を対象に、女性アスリートコンディショニングプログラムをオンラインで開催しました。昨年9月に選手・保護者向けに実施した本プログラムに引き続き、下田勇輝医師（市立秋田総合病院産婦人科医長）から講義を受け、11競技20名の指導者が研鑽を深めました。



講義を受ける指導者



丁寧な説明で講義する下田医師

月経痛は病気じゃない、痛みは忍耐で乗り越えろというのではなく、現代は選手の月経周期を把握したトレーニング内容を考慮する時代です。本プログラムでは、月経痛の知識だけでなく、月経が不規則、または月経が一定期間きていないということが、生涯にわたってどのような影響を与えるのかを考えるきっかけとなる有意義な時間となりました。参加した指導者からは「男性指導者としては、なかなか踏み込めないデリケートな分野ではあるが、ベストパフォーマンスを引き出すためには選手と一緒に取り組んでいかなければならない問題だと感じた。」「保護者や養護教諭等の協力も不可欠であるということも忘れてはならないと思った。」などの声があり、今後も選手への「理解」と「対応」について学ぶ場を持つ必要性を感じました。

令和3年度秋田県中学生強化選手育成事業 競技力向上研修Ⅱ

令和4年2月23日に開催する予定だった本研修は、新型コロナウイルス感染症の県の感染警戒レベルを鑑み、ウェブ配信の形に変更して開催しました。昨年のパフォーマンステストの結果から浮き彫りとなった課題を、佐々木健次トレーナー（Conditioning Center HOUSE代表）からご指導いただきました。

昨年11月、秋田県中学生強化選手及びチームAKITA強化・育成システム指定競技の高校生選手を対象に行ったパフォーマンステストでは、持久力は全国に劣らない能力があるとの評価をいただきましたが、アジリティ能力やスピード能力、それを支えるパワートレーニングについては改善が必要との指摘から、「スピード・アジリティトレーニング」、「パワートレーニング」の2種のトレーニングを、講義編とエクササイズ編に分けてオンデマンド配信しました。講義編でこれらのトレーニングがなぜ必要なのかを理解し、その上でエクササイズ編へと取り組むことで、知力と体力の両面からアプローチすることを促しました。



自宅でトレーニングに励む大竹璃胡選手(剣道競技)



体の使い方がトレーニングにどう影響するかを比較し、可視化されたものが提示された



佐々木トレーナーからは、「自分の筋力をどれだけの速さで発揮できるかが重要になってくるので、初動の体勢や足の向きなどに意識を向けてほしい。」「加速するためには、しっかり地面を押すことが必要となるため、特に下肢の正しいパワートレーニングは確実に取り組んでほしい。」とアドバイスをいただきました。参加した選手からは、「普段学校では学べない様々なトレーニングを知ることができて良かった。」「今後の競技に生かして成長につなげたい。」などと喜びの声が多くありました。

これらのトレーニングは、コロナ禍においても選手が自宅などのスペースでできる内容となっており、特別な用具も使用しないため、いつでもどこでもできるトレーニングです。依然、新型コロナウイルス感染症の収束には至っていませんが、目標を見失わず、毎日継続的に取り組むことで来季につながることを一人ひとりが感じ、実践してくれることを期待しています。



BEIJING 2022 冬季オリンピック

❄️❄️ 勇気と感動をありがとう ❄️❄️

バイアスロン競技 スプリント/15km/パシュート/4×6kmリレー/混合リレー

立崎 芙由子 選手（自衛隊体育学校所属・北秋田市出身）

世界中でまだコロナウイルスが形を変えながら流行し続けているなか開催されたこと、そして自分を含めチームメイト、知り合いの選手の中から陽性患者を出さずに大会を終えられた事に心から安心してます。

私の今シーズンの目標は「最低限を完璧にする」でした。上を見るとキリがなく、身の丈に合わない目標を立てて苦しんだ経験が沢山あったので、今年は自分にできる100点のレースを目指すことに集中してきました。目標設定を自分の足元に置いた事でやらなければならない事が沢山見つかり、理想ではなく具体的にやりたい自分、なれる自分の姿が見えて充実したシーズンを過ごせています。

オリンピックでの結果は見る人によって感じ方が違うと思いますが、今回は心に余裕を持って迎えられたので、「感謝しなければならない」ではなく、心から様々な事に感謝しながら過ごすことができました。沢山の地元の方々の応援に本当に力をいただきましたので、今後は自分の経験を活かして恩返しができると思っています。

オリンピックが終わってからもまだワールドカップが3戦残っていますし、来シーズンも競技を続けます。毎日スキーを楽しんでいた小学校の頃から変わらない「明日はもっと上手になりたい」という気持ちを大切に競技に真剣に向き合っています。今回のオリンピックも沢山の応援、ありがとうございました。



写真提供：自衛隊体育学校



↑バイアスロン北京五輪日本代表チーム



↑パシュート種目先頭を力走する立崎選手(39番)

アルペンスキー競技 女子ジャイアントスラローム/女子スラローム

向川 桜子 選手（富士フィルムB | 秋田株式会社所属・横手市出身）

秋田から世界へ！という自分なりのテーマを持ち続け、沢山の人に支えていただきながら“オリンピックに出る”という小さい頃からの夢を叶えることができました。ここに至るまでにコロナ禍で海外へ行くことが叶わなかったシーズンもあって、世界から少し遅れてしまったような気持ちになり、私の中でオリンピックを遠くに感じていました。しかし、そのような状況にあっても、所属先の富士フィルムB | 秋田をはじめ、多くの皆様が環境作りに協力して下さったことで、時間を無駄にすることなくやるべきことに取り組み続けることができました。現地入りしてからは、いつもと違う雪の状態に合わせるのに苦戦しましたが、練習を繰り返すことで次第に慣れ、コースへの不安はほぼなくレースを迎えることができました。

オリンピックのスタート台に立った時、これまでの苦労よりもここに辿り着くことができた喜びの方が大きく、とにかく私らしく滑ろうと思いました。それが皆様へ感謝を伝える一番の方法であり、自分へのご褒美でもあったからです。今、そういった意味では与えられたチャンスである4本すべてを、全力で滑り切れたと思っています。コロナ禍で多くの制限もありましたが、この状況だからこそ多くの方が普段はあまり見ることのないアルペンスキーに興味を持ち、テレビ越しに応援して下さったのではないかと気がしています。世界のアスリートが集い、競い合う場所は、思い描いていたよりも遥かに幸せで最高の場所でした。スポーツは見る人の感情を揺さぶることができる、影響や感動を与えることができるものだと思います。

この経験を今後に活かし、微力ではありますが秋田県の子どもの力になることができれば良いなと思っています。心強い応援、ありがとうございました。



↑トレーナーに合言葉の「いぐど」と言われながら背中を叩かれている様子 写真提供：向川選手ご本人



↑ジャイアントスラローム競技後笑顔の向川選手 写真提供：秋田魁新報社

→ベッドスプレットと手袋、クッションはブランケットにもなり全て持ち帰り可能。ベッドは電動リクライニングで快適。 写真提供：向川選手ご本人





One Heart! 秋田ノーザンブレッツRFC トップイーストリーグGroup-A昇格決定!!

2021年、秋田ノーザンブレッツは、所属する社会人ラグビーのトップイーストリーグGroup-Bを無敗で制し、入れ替え戦の末、来シーズンはトップイーストリーグGroup-Aに昇格することが決まりました。
来シーズンに向けた決意を、チームをまとめ上げた2人のキャプテンに伺います。



「ブレッツスタイル」

主将 齋藤健也

昨シーズンのたくさんの応援やサポート本当にありがとうございます。

目標であった「上位リーグとの入替戦勝利」を達成でき、チームとしてとても収穫のある一年間でした。

春から基礎練習を重ね、夏にはオープン戦で練習してきたことを実践し、その都度修正し、秋の公式戦に臨みました。その中で一年間を通じて感じたことは、信念を持つこと、自分たちのスタイルを持つことの重要性です。

ラグビーは相手が必ず目の前にいるスポーツなので自ずと相手を意識します。どのスポーツでも競技である以上、相手を意識してしまうと思います。ですが、大事なのは、自分たちのスタイルや強みを生かすことです。チームとしてどのように攻撃したいか、どのように守るかに注力しました。うまくいかないときは、自分たちのスタイルでラグビーができていないか、相手に合わせていないかなどコミュニケーションをとりました。自分たちのスタイルで突き進む。そのことをシーズン通して意識し、実践できたことが、目標を達成できた大きな要因であると考えています。

次のシーズンは、上のカテゴリーのチームと対戦します。相手が強かろうが自分たちがやることはただ一つ「ブレッツスタイル」を貫くのみです。

良い準備をして、秋田県の皆様を熱くさせられるようにチーム一丸となって戦います。

これからも応援よろしくお願致します。



2021
トップイーストリーグ
Group-B
優勝の軌跡

- 第1節 71-10 WIN
VS BIG BLUES
- 第2節 不戦勝 WIN
VS 日立製作所Sun Nexus
- 第3節 19-17 WIN
VS 明治安田生命ホーリーズ
- 第4節 11-8 WIN
VS 富士フィルムビジネスインバージョン
- 第5節 36-17 WIN
VS 日立製作所Sun Nexus
- 第6節 22-22 TIE GAME
VS 富士フィルムビジネスインバージョン
- 第7節 78-7 WIN
VS BIG BLUES
- 最終節 35-14 WIN
VS 明治安田生命ホーリーズ
- 入替戦 75-19 WIN
VS クリーンファイターズ山梨



「新シーズンに向けて」

主将 小山樹基

いつも応援ありがとうございます。秋田ノーザンブレッツ共同キャプテンの小山です。

昨シーズンは、所属していたトップイーストBリーグで優勝、併せてAリーグへの昇格を果たすことができました。コロナ禍ということもあり、いろいろと制限されることも多く大変なシーズンでしたが、チーム全員が昇格という目標にベクトルを向けてくれた結果だと思えます。そして何より、スポンサーや地域の皆様の声援、サポートがとても力になりました。本当にありがとうございました。

今年からはトップイーストAリーグでの戦いになります。昨年はチャンピオンとしてシーズンを終えることができましたが、今年はチャレンジャーとしてのシーズンになります。Aリーグでは、より一層フィジカルやスピード等個々の力はもちろん、チームとしても戦術や総合力を求められます。これらのレベルを上げていくためにもチームはもちろん、自分自身も常に良いコンディションをキープできるよう、しっかりとした準備をしてシーズンに臨んでいきたいです。昨年よりも厳しい試合が予想されますが、自分たちがどこまで戦えるのか、どこまで通用するのかとても楽しみです。

私たちがラグビーをできているのは、スポンサーや地域の皆様のお陰です。そんな皆様へ自分たちができる恩返しは、やはり試合に勝つことだと思っています。そのためにもチーム一丸となって、今シーズンも戦っていきますので、これからもご声援よろしくお願いたします。



令和3年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 最高功労者 ◆



故 小笠原 直 樹
前 公益財団法人秋田県体育協会 会長

◆ 功 勞 賞 ◆



小 林 新
秋田県ボート協会副会長



山 平 雄 二 郎
秋田県ボクシング連盟副会長



中 村 栄 喜
秋田県体操協会副会長



宮 原 章
秋田県レスリング協会参与



成 田 政 志
秋田県フェンシング協会顧問



鍋 島 喜 隆
秋田県剣道連盟顧問



荘 司 昭 夫
秋田県山岳・スポーツクライミング連盟顧問



須 田 精 一
秋田県空手道連盟最高顧問



三 上 豊
秋田県軟式野球連盟副会長

◆ 栄 誉 賞 ◆



高 田 幸 良
八幡平体育協会顧問



吉 田 利 雄
大仙市スポーツ協会常任理事

◆ 特 別 賞 ◆



永 原 和 可 那
(株)北都銀行



松 本 麻 佑
(株)北都銀行



保 岡 龍 斗
秋田ノーザンハピネッツ(株)



佐 藤 彩 乃
秋田病理組織細胞診研究センター



小 野 祐 佳
(公財)秋田県スポーツ協会



向 川 桜 子
富士フィルムBI秋田(株)



立 崎 芙 由 子
自衛隊体育学校



国際優秀賞

永原 和可那 バドミントン (株)北都銀行
 松本 麻佑 バドミントン (株)北都銀行

国際奨励賞

松本 麻佑 バドミントン (株)北都銀行

優秀指導者賞

石川 力 柔道 秋田県柔道連盟

栄光賞 【個人の部】

鈴木 優花	陸上競技	大東文化大学	4年	安部 慶輝	フェンシング	秋田緑ヶ丘病院	
関本 萌香	陸上競技	早稲田大学	4年	成田 琉夏	フェンシング	専修大学	3年
鈴木 大斗	水泳	桜中学校	3年	長崎 昇子	フェンシング	秋田北鷹高校	3年
高橋 凜	水泳	城東中学校	3年	國澤 拓	クレー射撃	秋田県クレー射撃協会	
白鳥 航生	水泳	能代第二中学校	3年	土田 剛士	剣道	矢島中学校	3年
山田 修太郎	レスリング	山梨学院大学	4年	田中 聖土	スキー	自衛隊体育学校冬季特別体育教育室	
櫻庭 功大	レスリング	自衛隊体育学校		馬淵 点	スキー	(株)イトイ産業	
阿部 侑太	レスリング	(公財)秋田県スポーツ協会		藤本 孝輔	スキー	秋田北鷹高校	1年
米澤 圭	レスリング	(株)IGNITION		山田 智子	スキー	秋田北鷹高校	3年
島谷 侃	レスリング	早稲田大学	3年	畠山 香恋	スキー	花輪高校	2年
保坂 典樹	レスリング	秋田商業高校	3年	畔上 凜花	スキー	秋田北鷹高校	3年
佐々木 優太	レスリング	明桜高校	3年	成田 健太	スキー	花輪高校	3年
加 成 京介	レスリング	秋田商業高校	2年	木村 幸大	スキー	中央大学	2年
伊藤 洋行	レスリング	秋田商業高校	2年	遠藤 佳人	スキー	秋田北鷹高校	1年
齋藤 貴仁	相撲	秋田北鷹高校	3年	成田 絆	スキー	花輪高校	1年
伊藤 愛美	柔道	御野場中学校	3年				

栄光賞 【団体の部】

令和3年度全国高等学校総合体育大会剣道大会
 第68回全国高等学校剣道大会

秋田商業高校男子剣道部

監督	高橋 伸友	秋田商業高校	
選手	高橋 京太郎	秋田商業高校	3年
選手	打川 武	秋田商業高校	3年
選手	萬年 竜也	秋田商業高校	3年
選手	福田 樹也	秋田商業高校	3年
選手	三浦 輝優	秋田商業高校	3年
選手	岩本 創	秋田商業高校	2年
選手	大里 貫太	秋田商業高校	2年

第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会

秋田県女子リレーチーム

監督	加賀 誠幸	秋田北高校	
選手	畔上 凜花	秋田北鷹高校	3年
選手	畠山 香恋	花輪高校	2年
選手	山田 智子	秋田北鷹高校	3年
選手	石垣 寿美子	富士フィルムBI秋田(株)	

令和3年度全国高等学校総合体育大会
 第71回全国高等学校スキー大会

花輪高校 男子リレーチーム

監督	浅利 優一	花輪高校	
選手	古田 柊斗	花輪高校	2年
選手	石井 茂太	花輪高校	2年
選手	高畑 歩	花輪高校	1年
選手	成田 絆	花輪高校	1年

令和3年度全国高等学校総合体育大会
 第71回全国高等学校スキー大会

秋田北鷹高校 女子リレーチーム

監督	古矢 勝久	秋田北鷹高校	
選手	山田 智子	秋田北鷹高校	3年
選手	畔上 凜花	秋田北鷹高校	3年
選手	大野 まこ	秋田北鷹高校	3年





令和3年度全国高等学校総合体育大会

第71回全国高等学校スキー大会

学校対抗 花輪高校男子スキー部

監督	大森敬一	花輪高校
監督	浅利優一	花輪高校
監督	佐藤範朋	花輪高校
選手	成田健太	花輪高校 3年
選手	海沼史人	花輪高校 3年
選手	菊地正汰	花輪高校 2年
選手	成田 絆	花輪高校 1年
選手	花岡翔太	花輪高校 3年
選手	石井茂太	花輪高校 2年
選手	古田柊斗	花輪高校 2年
選手	高畑 歩	花輪高校 1年
選手	黒澤唯斗	花輪高校 1年
選手	伊藤玲央	花輪高校 3年
選手	松橋結人	花輪高校 3年
選手	成田光哉	花輪高校 3年
選手	三浦圭仁	花輪高校 2年
選手	阿部宗平	花輪高校 1年

令和3年度全国高等学校総合体育大会

第71回全国高等学校スキー大会

学校対抗 秋田北鷹高校女子スキー部

監督	古矢勝久	秋田北鷹高校
選手	山田智子	秋田北鷹高校 3年
選手	畔上凜花	秋田北鷹高校 3年
選手	大野まこ	秋田北鷹高校 3年
選手	近藤さくら	秋田北鷹高校 3年
選手	木村 慶	秋田北鷹高校 2年

令和3年度全国高等学校総合体育大会

第71回全国高等学校スキー大会

学校対抗 花輪高校女子スキー部

監督	大森敬一	花輪高校
選手	畠山香恋	花輪高校 2年
選手	小鮎玲愛	花輪高校 2年
選手	小鮎穂乃実	花輪高校 1年
選手	木村 翠	花輪高校 1年
選手	吉田 凜	花輪高校 1年
選手	畠山瑚子	花輪高校 1年

第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会

雄物川高校男子バレーボール部

監督	宇佐美大輔	雄物川高校
選手	石塚 蓮	雄物川高校 3年
選手	角田颯哉	雄物川高校 3年
選手	富澤 螢音	雄物川高校 3年
選手	高橋 歩	雄物川高校 3年
選手	滝澤大希	雄物川高校 2年
選手	森野峻史	雄物川高校 1年
選手	佐々木 翼	雄物川高校 2年
選手	高橋 一太	雄物川高校 1年
選手	最上航帆	雄物川高校 1年
選手	本間未來	雄物川高校 2年
選手	大友響輝	雄物川高校 2年
選手	山本恭平	雄物川高校 2年
選手	武田政吾	雄物川高校 2年
選手	佐藤 吏	雄物川高校 2年
選手	高辻悠天	雄物川高校 1年
選手	古屋龍之介	雄物川高校 1年
選手	菊池康太	雄物川高校 1年
選手	今井光星	雄物川高校 1年

奨励賞 【個人の部】

村田愛加	水泳	桜中学校	1年
土田莉暖	卓球	新山小学校	2年
津谷奏夏	相撲	鷹巣中学校	3年
佐々木陽希	相撲	大豊小学校	4年
森本琥太郎	相撲	仙南小学校	6年
佐藤京介	陸上競技	仙南小学校	6年
成田和叶	フェンシング	城南中学校	1年

奨励賞 【団体の部】

第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会

秋田アスレティッククラブ

監督	齋藤 敦	秋田アスレティッククラブ
選手	伊藤 竜弥	秋田南高校中等部 1年
選手	加藤 陽	山王中学校 1年
選手	伊藤 碧	秋田東中学校 1年
選手	高橋 大輔	城南中学校 1年

令和3年度 受賞者数一覧

賞	個人	団体
最高功労賞	1名	
功労賞	9名	
栄誉賞	2名	
特別賞	7名	
国際優秀賞	2名	
国際奨励賞	1名	
優秀指導者賞	1名	
栄光賞	31名	8団体 71名
奨励賞	7名	1団体 5名
合計	61名	9団体 76名

賞	個人	団体
人見スポーツ賞	1名	2団体
畠沢国体賞	1名	1団体
辻ジュニアスポーツ大賞	2名	1団体
蒔苗スポーツ指導者賞	1名	
合計	5名	4団体



令和3年度

人見スポーツ賞受賞者



『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』

○個人の部

山田智子 (スキー・秋田北鷹高校 3年)

- ・第71回全国高等学校スキー大会 女子5km フリー 第1位
- ・第71回全国高等学校スキー大会 女子5km クラシカル 第2位
- ・第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会
クロスカントリー少年女子 第1位



○団体の部

秋田県立雄物川高等学校 男子バレーボール部

- ・第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 第3位



一般社団法人秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ

- ・トップイーストリーグB優勝、リーグA昇格決定

畠沢国体賞受賞者



『国民体育大会において優秀な成績を収め、本県スポーツの振興に著しく貢献したもの』

○個人の部

田中聖土 (スキー・自衛隊体育学校冬季特別体育教育室)

- ・第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会 クロスカントリー成年男子A 第1位



○団体の部

秋田県女子リレーチーム スキー (畔上 凜花・畠山 香恋・山田 智子・石垣寿美子)

- ・第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会 女子リレー 第1位

辻ジュニアスポーツ大賞受賞者



『技量優秀で、将来性が認められるもの』

○個人の部

佐藤京介 (陸上競技・美郷町立仙南小学校6年)

- ・第37回全国小学生陸上競技交流大会 男子6年100m 第2位



齊藤悠斗 (スケート・秋田市立桜小学校5年)

- ・2021/2022全日本ノービススピードスケート競技会 富士吉田大会
5年男子500m 第1位、1000m 第1位



○団体の部

秋田アスレティッククラブ 水泳 (伊藤 竜弥・加藤 陽・伊藤 碧・高橋 大輔)

- ・第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
200m男子フリーリレー 第1位

蒔苗スポーツ指導者賞

『長年にわたり、指導、育成に情熱を注ぎトップレベルのアスリートの礎を支えてきた指導者や支援者』



佐々木 翔 (北都銀行バドミントン部 監督)

- ・東京オリンピック2020大会 永原・松本組出場
- ・第28回ユーバー杯 女子国別対抗世界選手権大会
松本 麻佑 銀メダル
- ・第26回世界バドミントン選手権大会 永原・松本組 銅メダル



令和3年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

永年にわたり、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展、その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績が認められた公益財団法人秋田県スポーツ協会から推薦を受けた4名が受賞しました。

高 濱 正 人 様 (スポーツドクター)
柳 澤 宗 様 (スポーツドクター)
栄 田 直 宏 様 (バスケットボールコーチ4)
戸 島 義 夫 様 (アスレティックトレーナー)

ジュニア育成対策・競技力向上事業・オリンピック候補選手等への支援 ご協力ありがとうございます。

オフィシャルパートナー・オフィシャルサポーター・賛助会員様に感謝の気持ちを送らせて頂きました。100周年に向けてこれからもお願い申し上げます。(紙面の都合で一部の方のみとさせていただきます)



富士フィルム BI 秋田株式会社

株式会社秋田魁新報社

ヨコウン株式会社



株式会社秋田銀行

山二建設資材株式会社

花岡土建株式会社



株式会社英雄

ファイオン株式会社

吉川税理士事務所



厚生ビル管理株式会社

コマツ秋田株式会社

DOWAホールディングス株式会社秋田事業所

敬称は略させていただきます。



第1回秋田県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

- 期 日 11月27日(土)～11月28日(日) 女子の部
12月4日(土)～12月5日(日) 男子の部
- 会 場 秋田県立田沢湖スポーツセンター
- 参加団 女子12団196名 男子12団194名

秋田県スポーツ少年団では今年度、これまでの「秋田県ミニバスケットボール交歓大会」の参加資格が変更になったことを受け、スポ少登録をしているミニバス団に活躍の場を与えようと、県スポ少本部役員と田沢湖スポーツセンター職員らで実行委員会を組織し、新たに「秋田県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」を立ち上げました。

第1回大会は、11月最終週に女子大会、12月第1週に男子大会が田沢湖スポーツセンターで開催され、出場した県内の男女24チームは熱戦を繰り広げました。

本団では、今回の転機を「スポ少変革のチャンス」と捉え、大会の趣旨を「チャンピオンを競う」ことではなく、あくまでも「スポーツの楽しさ」を味わったり、「団員等の交流」を行ったりすること、言い換えれば「スポ少の原点」に立ち返ることとしました。

各チームの選手たちは、その趣旨に則った本大会独自のルール、「大会期間中のベンチ登録メンバー全員出場」や「3ポイントルール」などを存分に楽しんだようでした。

男子の部で最優秀チームとなった大曲ミニバスケットボールスポーツ少年団（大仙市）の佐々木心優（しゅう）主将（6年）は、「最後の大会をチーム全員の力で勝つことができた。3ポイントルールは、相手の流れを断ち切ることができてよかった。中学・高校でもバスケを続けたい。」と力を込めました。

会場では、実行委員会委員や出場チームの保護者らがアルコール消毒作業を実施し、来場者には応援の人数制限やマスク着用、声を出さない声援を求めたほか、各チームの控室を分散させるなどして、万全の感染症対策を行いました。

なお、大会開催に当たっては、地元企業・ホテル等から御協賛をいただいたほか、生保内イーストウインズスポーツ少年団保護者会からも‘手づくり大会’の運営に多大な御協力をいただきました。

また、この大会は2月最終週と3月第1週に田沢湖スポーツセンターで開催される「令和3年度東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」の予選大会を兼ねており、男子は大曲ミニバスケットボールスポーツ少年団、淳南レジェンドスポーツ少年団（能代市）、女子は八橋女子ミニバスケットボールスポーツ少年団（秋田市）、御所野女子ミニバスケットボールスポーツ少年団（同）がそれぞれ推薦されることになりました。

しかし、1月以降東北各県で子どもたちが新型コロナに多数感染し、2月に入っても各県の新規感染者が高水準で推移していることから、東北交流大会は中止となりました。

東北交流大会では、ラート競技世界選手権3連覇の高橋靖彦氏（秋田ノーザンハピネッツ所属）を招いて、参加者による交流イベント「ラート体験会」を実施することになっていただけに、中止はとても残念でした。

本団では、来年度の県交流大会及び東北交流大会の開催に向けて、引き続き田沢湖スポーツセンターと連携しながら準備を進めて参ります。



熱戦が繰り広げられた
第1回県スポ少ミニバス交流大会



令和3年度スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

- 期 日 7月17日(土) ●会 場 秋田市文化会館 ●参加数 47名
- 期 日 11月1日(月)～2月19日(土) ●会 場 リモート ●参加数 877名

新しいスポ少指導者資格を得るための「スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会」が、今年度から本格実施されました。

前期(7月)には、集合講習を秋田市文化会館で1回行い47名が受講しましたが、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大により県の感染警戒レベルが上がったため、後期の集合講習は全て中止となりました。

そこで、後期(11月～)の講習は、日本スポーツ協会が配信する「eラーニングシステム」により自宅等で受講する「オンライン講習」に切り替えて実施しました。

オンライン講習では、877名が「講義」「検定試験」「グループワーク」を受講しました。



日本スポーツ少年団顕彰・秋田県スポーツ少年団表彰

4月に開催する表彰式を新型コロナウイルス感染拡大のため延期しておりましたが、期日を変更し開催しました。

日本スポーツ少年団より功績のあった登録指導者、市町村スポーツ少年団に贈られる賞で、令和2年度は2団体と、登録指導者7名、退任感謝状2名に伝達されました。また、秋田県スポーツ少年団では、功労者11名、優秀指導者9名、優秀単位団6団体、優秀母集団3団体、退任参与感謝状2名を表彰しました。

- 期 日 1月12日(水) ●会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

令和2年度日本スポーツ少年団顕彰

◎市町村

鹿角市スポーツ少年団、男鹿市スポーツ少年団

◎指導者

田口 将(鹿角市)、大滝 朗(由利本荘市)、高橋道雄(秋田市)、淀川幹夫(秋田市)、保坂政美(秋田市)、大槻清治(大仙市)、伊藤正幸(潟上市)

◎退任感謝状

鈴木久米雄(潟上市)、(故)梁田純一郎(仙北市)

令和2年度秋田県スポーツ少年団表彰

◎功労者

金丸 亮(秋田市)、豊島春己(秋田市)、藤原正三(秋田市)、木村清隆(秋田市)、松岡修蔵(能代市)、渡部 悟(横手市)、高橋朝夫(大仙市)、茂木豊康(大仙市)、杉澤 亨(大仙市)、川原 敏(大仙市)、宇瀬隆広(潟上市)

◎優秀指導者

長谷川祐市(秋田市)、佐々木鍵二郎(秋田市)、佐藤信彦(秋田市)、大塚賢太郎(能代市)、武田和彦(大館市)、石場 透(潟上市)、青木崇洋(にかほ市)、斉藤忠雄(八郎潟町)、甲谷甚一(八郎潟町)

◎優秀単位団

明徳サッカースポーツ少年団(秋田市)、旭川バレーボールスポーツ少年団(秋田市)、御所野野球スポーツ少年団(秋田市)、きみまち柔道スポーツ少年団(能代市)、増田町jrソフトテニススポーツ少年団(横手市)、大曲レッドファイヤーズサッカースポーツ少年団(大仙市)

◎優秀母集団

岩見三内スポーツ少年団育成会(秋田市)、河辺スポーツ少年団育成会(秋田市)、向能代ファイターズスポーツ少年団親の会(能代市)

◎退任参与感謝状

直嶋康則、青山敏子





県内スポーツの主なできごと

12月

- 5日 バドミントンのワールドツアー・ファイナル女子ダブルスで志田千陽（八郎潟町出身）・松山奈未組が2位
- 8日 サッカーJ2ブラウブリッツ秋田は吉田謙監督の続投を発表
- 16日 レスリングの全日本選手権 男子グレコローマンスタイル77kg級で櫻庭功大（秋田商高出身）が初優勝
- 18日 バドミントンの世界選手権女子ダブルスで永原和可那・松本麻佑組（北都銀行）が3位
- 19日 秋田ノーザンブレッツは社会人ラグビーのトップイーストリーグでリーグBからAへの昇格を決めた
- 26日 第72回全国高等学校駅伝大会で男子代表の秋田工業高校が9位に入る健闘

1月

- 8日 第74回全日本バレーボール高校選手権大会で男子代表の雄物川高校が3位
- 8日 フェンシングのJOCジュニアオリンピックカップ カデ女子エペで成田和叶（秋田ジュニアフェンサーズ）が3位
- 16日 北京冬季五輪バイアスロン代表に立崎芙由子（米内沢高出身）が選ばれ、4大会連続出場となる
- 21日 北京冬季五輪アルペン女子代表に向川桜子（角館高出身）が初出場を決める
- 22日 スピードスケートの全日本ノービス競技会富士吉田大会 1000mの5年男子で齊藤悠斗（桜小）が優勝。6年男子で鎌田悠成（旭南小）が2位、松田泰聖（四ツ小屋小）が3位、4年男子で石川翔（寺内小）が5位。翌日23日に行われた500mの5年男子でも齊藤悠斗が優勝し2冠。6年男子で鎌田悠成が2位、松田泰聖が3位、4年男子で石川翔が6位
- 25日 サッカー女子WEリーグの三菱重工浦和は石川璃音（秋田市出身）の加入を発表

2月

- 17日 第77回国民体育大会冬季スキー競技会「美の国あきた鹿角国体2022」が鹿角市の花輪スキー場で開催
- 25日 第95回全日本学生スキー選手権大会 男子純飛躍で宮崎敬太（花輪高出身）が準優勝。男子30kmフリーで山田龍輔（秋田北鷹高出身）が3位

秋田県スポーツ協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）等の特例対象となります。スポーツ立県を支え、実現していくために多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

令和3年12月11日から令和4年3月4日までの間、寄付申し込みをいただいた皆様を御紹介いたします。（敬称は略させていただきます。）

【法人】 秋田ファイバー株式会社 有限会社和幸会計マネジメント 秋川塗装工業株式会社 株式会社マルシン



会議録(抄)

9月27日 第2回定例理事会(書面決議)

- ・顧問等の推挙について
- ・秋田県スポーツ表彰内規の改正について

1月12日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第一次審査

1月19日 第1回選考委員会

2月24日 第3回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第二次審査
- ・人見スポーツ賞、畠沢国体賞、辻ジュニアスポーツ大賞、蒔苗スポーツ指導者賞候補者について

- ・第17回日本スポーツグランプリ候補者の推薦について

3月3日 第2回スポーツ医・科学委員会(Web)

- ・令和4年度スポーツ医・科学委員会運営計画・活動計画(案)について
- ・令和4年度健康診断問診票(R4案)について
- ・令和4年度アスレティックトレーナー養成講習会受講者の推薦について(案)

令和4年度 手続やお問い合わせはこちら

◎総務課 018-864-8090 FAX 018-864-5752

- オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金
- バスケットボール競技普及等助成金
- 県民体育大会開催事業交付金
- 寄付金及び協賛金
- 飲料水販売等の収益事業に関すること
- スポーツ安全保険【スポーツ安全協会秋田県支部 018-883-0360】

◎スポーツ推進課 018-864-8094

- 総合型地域スポーツクラブに関すること
- チャレンジデーに関すること
- 国際交流事業
- 秋田県スポーツ賞等各種表彰に関すること
- 指導者の養成に関すること
- 後援の承認
- 周年記念事業に関すること
- その他生涯スポーツに関すること
- トップアスリート無料職業紹介事業

◎競技力向上対策課 018-864-8091

- 競技力向上に関すること
- チームAKITA強化・育成システムや中学生強化選手関連事業
- 国体や東北総体への参加手続に関すること
- スポーツ医・科学やドーピング防止に関すること

◎スポーツ少年団室 018-866-3916

- ・スポーツ少年団登録事務
- ・スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会
- ・その他スポーツ少年団に関すること



編集後記

大正12年に発足した当協会は、令和5年度に100周年を迎えることになりました。これもひとえに関係者の皆様方からいただいた温かいご指導、ご支援の賜と衷心よりお礼申し上げます。

創立100周年記念事業といたしまして、記念式典及び記念誌の発行を予定しています。

これまでのご支援に対して改めて感謝の意を表しますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



想像から創造へ
あらゆるニーズにお応えする

株式会社 松原印刷社
(印刷・製本)

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760 FAX 018-863-0005
URL <http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

Official Partner



秋田いすゞ自動車株式会社

厚生ビル管理株式会社

株式会社光風舎

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号

TEL : 018-823-4061 (厚生ビル管理)

TEL : 018-896-4115 (光風舎)

<http://www.kosei-buil.co.jp>

<http://www.kofuu.co.jp>

地球を舞台とした事業活動を通じて、
豊かな社会の創造と資源循環型社会の構築に貢献します。

DOWA

秋田県内 DOWAグループ

ドキュメント共有を支援するクラウドサービス

どこからでもアクセス可能、テレワークの推進を支援

社内

社外

WorkingFolder

クラウド上でドキュメントを共有し情報漏えいリスクを軽減。
業務効率化をご支援いたします。

富士フィルム BI 秋田株式会社

※「秋田ゼロックス株式会社」は2021年4月1日より社名変更いたしました。
秋田市川尻町字大川反170-92 TEL : 018-823-4645



3位までフルネームで掲載
記録、プレー写真 随時受付中!

sports-kirokuyo@sakigake.jpまで

秋田新報



毎日の「幸せ」を
物流でつくる

YOKOUN

ヨコウン株式会社



☎013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 ☎0182-32-3667 FAX32-5672

Official Supporter

コマツ秋田株式会社

佐田建設工業有限会社

株式会社ツルタック

明治安田生命保険相互会社秋田支社

秋田信用金庫

株式会社秋田銀行

花岡土建株式会社

山二建設資材株式会社



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ 宿 泊 室
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム ミ ー テ ー ニ ン グ ル ー ム
温 水 プ ー ル 温 泉 浴 ル ー ム
研 修 室 (サウナ有)



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

駄菓子・ワジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エイコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 菅 谷 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

インスタマガジン公開中!!

これまでも
これからも
秋田県

秋田県農家ごはん

スペシャルサイトはこちら



美人を育む秋田県
あきたこまち

JAグループ秋田・JA全農あきた

株式会社 M・S・C 「M's スポーツクラブ」

【出張レッスン承り中！県内、東北、全国どこへでもエアートランポリンを持っていきます】



1号店：土崎教室



2号店：御所野教室



3号店：雫石教室

TEL:070-5325-2412 FAX:018-828-3309 Mail:mspclub@yahoo.co.jp

☆☆2歳から80歳までの体操教室！大人の健康運動教室やヨガ教室も大人気☆☆

テーマ【体験・経験・発見】 バク転を体験して難しい技を経験して新しい発見を見つけませんか???

合宿するなら ナイスアリーナへ！

ナイスアリーナで
合宿してみませんか。
施設内には合宿棟も
あります！



由利本荘総合防災公園 ナイスアリーナ
〒015-0013

秋田県由利本荘市石脇字田尻野18番地
(国道7号線沿い ハローワーク本荘様向い)
TEL:0184-22-0001
FAX:0184-25-7080
HP: https://shisetsu.mizuno.jp/m-7619

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

令和4年4月1日午前0時から
令和5年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

スポあんネット
\ スマホにも対応 /

だれでも かんたんに 便利に 使いやすく
全面リニューアル!!

スムーズな掛金支払い



コンビニ、Pay-easyでお好きな
時間に掛金が支払えます。

次年度の手続きがラク



前年度名簿を利用して加入手続
が行えます。

履歴管理、事故通知も



加入手続の履歴を一元管理。傷害
保険の事故通知もできます。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下 B 65歳以上	1,850円 1,200円
大人 (高校生以上)	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団員への送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	ワイドコース (個人活動補償型)	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW 1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 WEB加入限定 4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 WEB加入限定 5,000円
大人 (高校生以上)	ワイドコース (個人活動補償型)	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW 1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 WEB加入限定 4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 WEB加入限定 5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和4年4月1日」を基準とします。



公益財団法人 **スポーツ安全協会** 秋田県支部

TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時
(土、日、祝日を除く。)



スポーツ安全保険 検索

LINE 公式アカウント



友だち募集中!

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎ 0120-233-801
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和4年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

令和3年12月作成 21-TC07930